

新型コロナウイルス感染症に対する市政運営における基本姿勢 《那須塩原市長から市民の皆様へのメッセージ》

現在、新型コロナウイルス感染症が地球規模で猛威を振るっており、那須塩原市においても、市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしています。

那須塩原市では、子供たちを守ること、地域経済への影響を可能な限り抑えること等を基本として、個々の事情にも配慮した小中学校の原則休校をはじめ、他の市町に先駆けて、最大2年間据え置きの低金利り災特別資金融資や、上下水道料金の支払い猶予等を実施し、4月10日には1.1億円の緊急経済対策を盛り込んだ補正予算を編成しました。しかしながら、全国的に感染が急拡大しており、市内でも感染者が確認されるなど、状況は日に日に深刻になってきています。

現在のような感染拡大期の対応は、人の生命・健康を守ることと、経済活動がトレードオフの関係にあります。感染拡大を防ぐには、外出の自粛等、経済活動の縮小を伴う措置が必要です。一方、経済活動を継続すると、人や企業が自由に動く結果、感染が拡大するおそれがあります。

これまでは、市民の安全・安心の確保と、地域経済への影響抑制の両面を考慮して対策を検討してまいりました。しかしながら、このような状況を受けて、那須塩原市の市政を預かる者として、当面の政策判断に際しては、市民の生命・健康を守ることが最優先とし、経済対策については状況を見極めて対応することとしますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

こうした姿勢で、今後、次の3点の対応を行ってまいります。

1. 今後の新型コロナウイルス感染症対策に必要な財源を捻出するため、感染症の拡大により中止または延期となる事業等や、延期が可能な不急の事業等を抽出し、あらためて予算全体の見直しを行います。
2. 東京をはじめ感染が拡大している地域からの、市内への不要不急の流入を抑制するため、道の駅など、市外の方が多く集まる施設の休館に向けた検討を行います。
3. 今後の感染者の拡大に備え、地域の医療体制を確保すべく、軽症者、無症状者を市内の宿泊施設等において受け入れる体制の構築に向けて調整します。

本市では、今後とも、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組み、市民の安全・安心の確保を最優先に対応してまいりますので、皆様のご理解をいただければ幸いです。

令和2年4月13日

那須塩原市長 渡辺 美知太郎